

調査名 新型コロナウイルス感染症による日本看護科学学会 (JANS) 会員の研究活動への影響と  
学会に求める支援に関する調査, 2020 (第1回調査)  
寄託者(寄託時) 公益社団法人 日本看護科学学会 理事長

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

## 新型コロナウイルス感染症による 日本看護科学学会 (JANS) 会員の研究活動への影響と学会に求める支援に関する調査

- [回答](#)
- [完了](#)

### 調査協力をお願い

この調査は、日本看護科学学会が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による会員の研究活動への影響について知り、今後、学会としてどう支援をしていくかを検討するために、会員を対象としてご協力を頂くものです。

• 調査協力への諾否は皆様の自由意思によるものです。調査用ウェブサイトの同意ボタンをチェックして頂くことで、ご同意頂いたと判断いたします。

なお、調査にご協力頂けず場合は、2020年8月10日までにご回答頂きますようお願い致します。

また、調査にご協力頂けなかった場合でも、今後の皆様の学会活動に不利益になることはありません。

調査への参加を撤回する場合には、研究事務局までご連絡ください。

• 研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された情報 (どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

• 本調査へのご回答には25分ほどかかります。皆様の貴重なお時間をいただくこととなります。

• 本調査にご協力いただくことによる皆様への直接の利益はございませんが、この調査により明らかになりましたことを、日本看護科学学会学術集会およびホームページ等を使って皆様に還元し、できるだけ早く支援策を検討・提示して参ります。

また本調査の結果は、日本看護科学学会等の学術集会や学会誌にて発表することがあります。

• 皆様の貴重な意見をお待ちしております。

• 本調査は半年後に再度実施予定です。

### 日本看護科学学会 COVID-19看護研究等対策委員会

下記のログイン者情報は自動で表示されるものです。会員番号等の個人を特定できる情報はJANS事務所で匿名化された後、分析を行う研究者に渡されます。

本研究への参加に同意する方は、以下にチェックを入れた上で、質問項目にお進みください。

問1 同意されない方は、このまま本調査のWEBページを閉じてください。

本研究への参加に同意します

問2 直近3ヶ月間 (2020年4~6月) の、COVID-19による社会的影響下 (コロナ禍) における、あなたの研究活動の状況について伺います。

Q1. コロナ禍において、あなたの研究活動に対する意欲はどの程度変わりましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても増えた
2. やや増えた
3. どちらとも言えない/あまり変わらない
4. やや減った
5. とても減った

Q2. コロナ禍において、あなたの全体の研究活動に費やす時間はどの程度変わりましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても増えた
2. やや増えた
3. どちらとも言えない/あまり変わらない
4. やや減った
5. とても減った

Q3. 以下は、研究者向けのソーシャル・ネットワーク・サービスであるResearchGateが実施した調査の質問項目になります。

コロナ禍において、あなたが以下の活動に費やす時間はどの程度変わりましたか。

もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

(参考 [ResearchGateの調査内容] : [https://www.researchgate.net/institution/ResearchGate/post/5e81f09ad785cf1ab1562183\\_Report\\_COVID-19\\_impact\\_on\\_global\\_scientific\\_community](https://www.researchgate.net/institution/ResearchGate/post/5e81f09ad785cf1ab1562183_Report_COVID-19_impact_on_global_scientific_community))

- |   | 選択   |
|---|--|
| 1. 文献検索 (Literature search)                                   | 1. とても減った (Much less)<br>2. 減った (Less)<br>3. あまり変わらない (About the same)<br>4. 増えた (More)<br>5. とても増えた (Much more) |
| 2. 論文執筆 (Writing papers)                                      | 1. とても減った (Much less)<br>2. 減った (Less)<br>3. あまり変わらない (About the same)<br>4. 増えた (More)<br>5. とても増えた (Much more) |
| 3. 研究費申請書の執筆 (Writing grants)                                 | 1. とても減った (Much less)<br>2. 減った (Less)<br>3. あまり変わらない (About the same)<br>4. 増えた (More)<br>5. とても増えた (Much more) |
| 4. キャリア開発に関する活動 (就職・転職・昇進の情報収集や書類作成など) (Career opportunities) | 1. とても減った (Much less)<br>2. 減った (Less)<br>3. あまり変わらない (About the same)<br>4. 増えた (More)<br>5. とても増えた (Much more) |

5. 実験や調査の実施 (Experiments)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
6. 教育 (Teaching)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
7. 研究室マネジメント (Lab management)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
8. 他の研究者との連携・共同 (Collaborating with other scientists)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
9. 研究関連物品 (器材・試料・事務物品・ソフトウェアなど) の購入に関する活動 (Purchasing lab equipment)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)

10. 研究関連の会議・会合（学会や研究会など）への参加（Attending conferences）

5. とても増えた（Much more）

1. とても減った（Much less）

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない  
（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much more）

Q4. コロナ禍において、あなたの全体の研究活動はどの程度阻害されましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても阻害された
2. やや阻害された
3. どちらとも言えない
4. あまり阻害されなかった
5. まったく阻害されなかった

> 「4. あまり阻害されなかった」「5. まったく阻害されなかった」とお答えされた方は、その理由や工夫・対策についてご記入ください。

Q5. 以下は、コロナ禍において研究活動を阻害する要因として考えられる項目です。

これらは、あなたの研究活動をどの程度阻害しましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選び下さい。

項目に該当しない人（例：研究補助者がいない人、教育業務がない人など）は、「該当しない」とお答えください。

1. 研究対象者との対面接触の困難

選択

該当しない

1. （研究活動を）まったく阻害しなかった

2. （研究活動を）あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. （研究活動を）やや阻害した

5. （研究活動を）とても阻害した

該当しない

2. 調査対象施設への出入りの困難

1. （研究活動を）まったく阻害しなかった

2. （研究活動を）あまり阻害しなかった

	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
3. 国内の移動手段の確保や出張の困難	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
4. 海外への移動手段の確保や出張の困難	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
5. 研究に必要な器材・文献・資料・データ・パソコン・ソフトウェア等を利用の困難	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した

6. 研究補助者（リサーチアシスタントを含む）の活用の困難	<p>も阻害した</p> <p>該当しない</p> <p>1.（研究活動を）まったく阻害しなかった</p> <p>2.（研究活動を）あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4.（研究活動を）やや阻害した</p> <p>5.（研究活動を）とても阻害した</p>
7. 在宅勤務による研究の効率の低下	<p>該当しない</p> <p>1.（研究活動を）まったく阻害しなかった</p> <p>2.（研究活動を）あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4.（研究活動を）やや阻害した</p> <p>5.（研究活動を）とても阻害した</p>
8. 自身の所属組織内外の共同研究者（同僚・大学院生・他施設の研究者など）との打ち合わせの困難	<p>該当しない</p> <p>1.（研究活動を）まったく阻害しなかった</p> <p>2.（研究活動を）あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4.（研究活動を）やや阻害した</p> <p>5.（研究活動を）とても阻害した</p>
9. 研究に関連する部署や組織、機関（事務、倫理審査委員会、調査協力先の団体、調査・研究の外注先など）の機能低下	<p>該当しない</p> <p>1.（研究活動を）まったく阻害しなかった</p> <p>2.（研究活動を）あま</p>

10. 研究計画を変更したことによる、必要な予算の確保の困難

- り阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

11. 研究に関するピアサポートやコミュニケーションの困難

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

12. 共同研究者との共同研究の停滞

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した

13. 大学院生との共同研究の停滞

5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

14. 研究指導にかかる時間の増加

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

15. 投稿した論文(和文・英文)の査読・出版プロセスの遅延

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

16. COVID-19 対応に専門職として貢献できない罪悪感・葛藤

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

17. 講義にかける時間の増加（準備・評価を含む）

- 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない

- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
  - 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない

18. 演習にかける時間の増加（準備・評価を含む）

- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
  - 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない

19. 実習にかける時間の増加（準備・評価を含む）

- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
- 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
- 4.（研究活動を）やや

	阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
20. 実践（臨床）にかかる時間の増加	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
21. 学生・職員の健康管理にかかる時間の増加（体調チェックなど）	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
22. 感染症への恐怖を呈する学生・職員の支援にかかる時間の増加	1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
	3. どちらとも言えない
	4. (研究活動を) やや阻害した
	5. (研究活動を) とても阻害した
	該当しない
23. その他の学生・職員の相談にかかる時間の増加（就職相談、メンタルヘルス相談、経済支援相談など）	1. (研究活動を) まっ

24. 管理運営活動にかかる時間の増加（会議・委員会活動、オープンキャンパス、就職説明会など）

25. 情報通信技術（ICT）の習熟にかかる時間の増加

26. 上司・同僚・部下や組織に対するICT関連の支援にかかる時間の増加（WEBミーティングシステムのインストールや使用方法の支援など）

- たく阻害しなかった
- 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない
- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
  - 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない
- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
  - 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  - 4.（研究活動を）やや阻害した
  - 5.（研究活動を）とても阻害した
- 該当しない
- 1.（研究活動を）まったく阻害しなかった
  - 2.（研究活動を）あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや  
阻害した

5. (研究活動を) とて  
も阻害した

該当しない

27. COVID-19 に関する社会貢献活動 (学会の委員会活動、市民講座など) にかける時間の増加

1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった

2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった

3. どちらとも言えな  
い

4. (研究活動を) やや  
阻害した

5. (研究活動を) とて  
も阻害した

該当しない

28. COVID-19 の影響で家事にかける時間の増加

1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった

2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった

3. どちらとも言えな  
い

4. (研究活動を) やや  
阻害した

5. (研究活動を) とて  
も阻害した

該当しない

29. 家庭内でのCOVID-19 の感染予防・健康管理にかける時間の増加

1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった

2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった

3. どちらとも言えな  
い

4. (研究活動を) やや  
阻害した

5. (研究活動を) とて  
も阻害した

該当しない

30 . COVID-19 の影響により生じた家庭内の葛藤・ぶつかり合い

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

31 . COVID-19 に伴う子どもの休園・休校・登校制限による育児時間の増加

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

32 . COVID-19 の影響による、介護にかかる時間の増加（デイサービスやショートステイの利用中止によるものなど）

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した
- 該当しない

33 . COVID-19 に対応するための家事・育児・介護が十分に行うことができない罪悪感・葛藤（家庭での感染予防など）

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない

い

4. (研究活動を) やや  
阻害した

5. (研究活動を) とて  
も阻害した

Q6. 上記以外に、コロナ禍において、あなたの研究活動が阻害された要因がありましたらご記入ください。

Q7. コロナ禍において、あなた自身の研究活動について不安がありますか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても不安である
2. やや不安である
3. 不安はない

> 「1. とても不安である」「2. やや不安である」とお答えした人にお尋ねします。具体的にどのような不安がありますか。(複数選択可)

1. 自身の雇用の継続
2. 教育・研究職への就職
3. 研究の内容・質
4. 研究の中断と再開時期
5. 代替となる研究の準備・実施
6. 研究データ収集の困難さ
7. 教育・研究・臨床活動のバランス
8. 共同研究者とのコミュニケーション
9. 研究留学の中止・中断
10. 自身の学位取得の遅れ
11. 次年度の研究費申請への影響
12. COVID-19対応以外の活動に時間を使うことに批判を受ける可能性
13. コロナ禍における労務管理の不十分さによる精神的・身体的疲弊
14. 世帯収入の減少による生活基盤の脆弱化
15. その他

【「15. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q8. あなたのコロナ禍における研究活動に関して、気軽に相談できる人はいますか。当てはまる選択肢をすべてお選びください。(複数選択可)

1. 組織内の上司／先輩
2. 組織内の同僚／同級生
3. 組織内の部下／後輩
4. その他
5. いない

【「4. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q9. 以下は、コロナ禍における研究活動上の肯定的な変化として考えられる項目です。  
あなたは、これらの変化をどのくらい感じましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

選択

1. 通勤時間の短縮による研究時間の創出

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった

2. 通勤時間の調整（時差出勤）による研究時間の創出

3. どちらとも言えない

4. やや感じた

5. とても感じた

1. まったく感じなかった

2. あまり感じなかった

3. どちらとも言えない

4. やや感じた

5. とても感じた

3. 対面会議の減少による研究時間の創出

1. まったく感じなかった

2. あまり感じなかった

3. どちらとも言えない

4. やや感じた

5. とても感じた

4. 会議・出張の中止・延期による研究時間の創出

1. まったく感じなかった

2. あまり感じなかった

3. どちらとも言えない

4. やや感じた

5. とても感じた

5. 新たな生活リズムの構築

1. まったく感じなかった

2. あまり感じなかった

3. どちらとも言えない

4. やや感じた

5. とても感じた

6. 新たな研究アイデアの着想

1. まったく感じ

7. 新たな研究へのチャレンジ

- なかった
2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
  1. まったく感じなかった

8. 新たな分野の研究者や知見に触れる機会の増加

- なかった
2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
  1. まったく感じなかった

9. 新たな分野の研究者との共同研究の着想

- なかった
2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
  1. まったく感じなかった

10. 在宅での研究活動の環境改善

- なかった
2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
  1. まったく感じなかった

- なかった
2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた

11. 遠隔による教育活動の効率化による研究時間の創出

5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じ  
なかった
3. どちらとも  
言えない
4. やや感じた
5. とても感じた

12. ICTを活用して国内の研究者間でのコミュニケーションが取りやすくなった

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じ  
なかった
3. どちらとも  
言えない
4. やや感じた
5. とても感じた

13. ICTを活用して海外の研究者とのコミュニケーションが取りやすくなった

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じ  
なかった
3. どちらとも  
言えない
4. やや感じた
5. とても感じた

14. 遠隔による研究活動の機会の増加

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じ  
なかった
3. どちらとも  
言えない
4. やや感じた
5. とても感じた

15. 遠隔による実践（臨床）活動の機会の増加

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じ  
なかった
3. どちらとも  
言えない

16. 遠隔による学会・講習会のメリットを体験

- えない
4. やや感じた
  5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
  2. あまり感じな  
かった
  3. どちらとも言  
えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた

17. 遠隔でのピアサポート・コミュニケーションの機会の増加（オンラインでの同僚や  
大学院生同士の雑談や飲み会など）

1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった
3. どちらとも言  
えない
4. やや感じた
5. とても感じた

Q10. 上記以外に、コロナ禍において、あなたが感じた研究活動上の肯定的な変化がありましたらご記入ください。

問3 コロナ禍における、効果的な支援の方法について伺います。

Q1. 日本看護科学学会（JANS）では、コロナ禍における会員の研究活動の支援などを行うことを検討しています。

あなたは、どのような支援を行って欲しいと思いますか。あなた自身のために必要な支援について、あなたのお考えをお答えください。

1. コロナ禍に関連する研究への研究助成

- 選択
1. 非常に行って欲しい
  2. 行って欲しい
  3. どちらかと言えば  
行って欲しい
  4. どちらとも言えない
  5. 行う必要はない

2. コロナ禍により留学の開始や継続が難しい人への費用の助成

1. 非常に行って欲しい
2. 行って欲しい

	3. どちらかと言えば 行って欲しい
	4. どちらとも言えない
	5. 行う必要はない
3. JANS会員が行う会員向け調査への協力（会員が行う研究への会員情報を用いた 依頼、調査票配信など）	1. 非常に行って欲しい
	2. 行って欲しい
	3. どちらかと言えば 行って欲しい
	4. どちらとも言えない
	5. 行う必要はない
4. JANSが行う会員向け調査データのオープンソース化	1. 非常に行って欲しい
	2. 行って欲しい
	3. どちらかと言えば 行って欲しい
	4. どちらとも言えない
	5. 行う必要はない
5. オンラインで参加できるセミナーや研修機会の充実	1. 非常に行って欲しい
	2. 行って欲しい
	3. どちらかと言えば 行って欲しい
	4. どちらとも言えない
	5. 行う必要はない
6. オンラインで会員同士が交流・相談できる機会の充実（掲示板・メーリングリ スト・SNSでの限定グループなど）	1. 非常に行って欲しい
	2. 行って欲しい
	3. どちらかと言えば 行って欲しい
	4. どちらとも言えない
	5. 行う必要はない
7. オンラインで参加できる論文抄読会の構築	1. 非常に行って欲しい

8. オンラインで参加できる研究ミーティングの構築

- い
- 2. 行って欲しい
- 3. どちらかと言えば  
行って欲しい
- 4. どちらとも言えない

9. オンラインで行える研究に関する個別相談体制の構築

- い
- 5. 行う必要はない
- 1. 非常に行って欲しい
- い
- 2. 行って欲しい
- 3. どちらかと言えば  
行って欲しい
- 4. どちらとも言えない
- い
- 5. 行う必要はない

10. 遠隔での共同研究が効果的に行われた事例の共有

- 1. 非常に行って欲しい
- い
- 2. 行って欲しい
- 3. どちらかと言えば  
行って欲しい
- 4. どちらとも言えない
- い
- 5. 行う必要はない

11. コロナ禍での在宅勤務で研究を進めることができた事例の共有

- 1. 非常に行って欲しい
- い
- 2. 行って欲しい
- 3. どちらかと言えば  
行って欲しい
- 4. どちらとも言えない
- い
- 5. 行う必要はない
- 1. 非常に行って欲しい
- い
- 2. 行って欲しい
- 3. どちらかと言えば  
行って欲しい
- 4. どちらとも言えない
- い

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 12. コロナ禍での阻害要因に対応できた研究マネジメント事例の共有                         | 5. 行う必要はない        |
|   | 1. 非常に行って欲しい      |
|   | 2. 行って欲しい         |
|   | 3. どちらかと言えば行って欲しい |
|   | 4. どちらとも言えない      |
|   | 5. 行う必要はない        |
| 13. コロナ禍を含む非常時に活用可能な研究方法についての研修                           | 1. 非常に行って欲しい      |
|   | い                 |
|   | 2. 行って欲しい         |
|   | 3. どちらかと言えば行って欲しい |
|   | 4. どちらとも言えない      |
|   | 5. 行う必要はない        |
| 14. コロナ禍における効果的な教育方法の研修                                   | 1. 非常に行って欲しい      |
|   | い                 |
|   | 2. 行って欲しい         |
|   | 3. どちらかと言えば行って欲しい |
|   | 4. どちらとも言えない      |
|   | 5. 行う必要はない        |
| 15. コロナ禍を含む深刻な健康課題が発生した状況において研究と教育・実践・政策の連動を促進するネットワークの構築 | 1. 非常に行って欲しい      |
|   | い                 |
|   | 2. 行って欲しい         |
|   | 3. どちらかと言えば行って欲しい |
|   | 4. どちらとも言えない      |
|   | 5. 行う必要はない        |
| 16. 会員の所属組織に向けたコロナ禍における研究についての提言                          | 1. 非常に行って欲しい      |
|   | い                 |
|   | 2. 行って欲しい         |
|   | 3. どちらかと言えば       |

- 行って欲しい
4. どちらとも言えない
5. 行う必要はない
17. 会員の所属組織に向けたコロナ禍における教育についての提言
1. 非常に行って欲しい
2. 行って欲しい
3. どちらかと言えば行って欲しい
4. どちらとも言えない
5. 行う必要はない
18. 会員の所属組織に向けたコロナ禍における働き方についての提言
1. 非常に行って欲しい
2. 行って欲しい
3. どちらかと言えば行って欲しい
4. どちらとも言えない
5. 行う必要はない
19. 会員の所属組織に向けた教員のICT習熟を促進するための提言 (ICT支援スタッフの雇用など)
1. 非常に行って欲しい
2. 行って欲しい
3. どちらかと言えば行って欲しい
4. どちらとも言えない
5. 行う必要はない

Q2. 上記以外に、コロナ禍における会員の研究活動支援のために有効と考えられる方法についてアイデアがありましたら、ご記入ください。

問4 看護系大学の常勤職の人が、コロナ禍において仕事に費やしている時間の配分状況について伺います。

Q1. あなたは現在、看護系大学に常勤職として勤務していますか。

1. はい
2. いいえ

※「2. いいえ」とお答えした方は、次の設問カテゴリー「問5. コロナ禍における、科研費による研究遂行状況について伺います」にお進みください。

Q2. 直近の3ヶ月間（2020年4～6月）で、あなたの大学では在宅勤務・リモートワークを実施しましたか。

1. 実施した（出勤する日もあったなどの、一部実施も含む）
2. 実施していない
3. その他

【「3. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q3. 直近の3ヶ月間（2020年4～6月）で、あなたは仕事に費やしている時間を、どのように研究・教育・管理運営・社会貢献活動などに配分していましたか？

以下に示す活動ごとに、割合（%）をお答えください（合計が100%となるようにご回答ください）。

割合（%）

1. 研究活動（文献検索・調査／実験・論文執筆・研究指導など）
2. 教育活動（講義・実習・演習）
3. 管理運営活動（大学における会議・委員会、オープンキャンパスなど）
4. 社会貢献活動（学会の委員会活動、市民講座など）
5. 実践（臨床）における活動
6. その他

【「6. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

問5

コロナ禍における、科研費による研究遂行状況について伺います。

Q1. あなたは今年度（令和2年度）、研究代表者として科研費（文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金）を獲得していますか（継続分を含みます）。

1. はい
2. いいえ

> 「1. はい」とお答えした人にお尋ねします。研究代表者として、どの研究種目を獲得していますか。（複数選択可）

1. 科学研究費：基盤研究（S・A・B）
2. 科学研究費：基盤研究（C）
3. 科学研究費：挑戦的研究（開拓・萌芽）
4. 科学研究費：若手研究（若手研究A・Bを含む）
5. 研究活動スタート支援
6. 特別研究員奨励費
7. 国際共同研究加速基金：国際共同研究強化（A・B）・国際活動支援班・帰国発展研究
8. その他の科研費

【「8. その他の科研費」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

>引き続きQ1で「1. はい」とお答えした人に、当該研究についてお尋ねします（複数の科研費の研究代表者である場合は最も予算額の多い科研費についてお答えください）。

当該研究において、あなたが「研究代表者」として行う今年度の研究計画遂行は、コロナ禍によりどの程度阻害されましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても阻害された
2. やや阻害された
3. どちらとも言えない
4. あまり阻害されなかった
5. まったく阻害されなかった

>引き続きQ1で「1. はい」とお答えした人にお尋ねします。

当該研究において、「分担研究者」が行う今年度の研究計画遂行は、コロナ禍によりどの程度阻害されていますか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても阻害された
2. やや阻害された
3. どちらとも言えない
4. あまり阻害されなかった
5. まったく阻害されなかった
6. 分担研究者はいない

Q2. コロナ禍における現在の研究状況が、次年度の新規の科研費申請をどの程度阻害すると思いますか。  
もっとも当てはまる選択肢をお選びください。複数の科研費を想定される場合は、最も予算額の多い科研費についてお答えください。

1. とても阻害する
2. やや阻害する
3. どちらとも言えない
4. あまり阻害しない
5. まったく阻害しない
6. 次年度の新規課題申請の予定はない  
> 「1. とても阻害する」「2. やや阻害する」とお答えされた方は、その理由についてご記入ください。

問6 あなた自身についておたずねします。

Q1. あなたの会員区分をお答えください（ご登録頂いている請求送付先の住所となります）。

1. 北海道
2. 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
3. 関東A（茨城、栃木、群馬、埼玉）
4. 関東B（千葉、神奈川）
5. 東京A（千代田区、中央区、港区、台東区、文京区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、品川区、大田区、島しょ、海外）
6. 東京B（渋谷区、目黒区、世田谷区、新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区、多摩地域）
7. 甲信越（新潟、長野、山梨）
8. 北陸（富山、石川、福井）
9. 東海（静岡、愛知、岐阜、三重）
10. 近畿A（大阪、兵庫）
11. 近畿B（滋賀、京都、奈良、和歌山）
12. 中国・四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
13. 九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）
14. 答えたくない

Q2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

Q3. あなたの年齢をお答えください。

1. 25歳以下
2. 26～35歳
3. 36～45歳
4. 46～55歳
5. 56～65歳
6. 66歳以上
7. 答えたくない

Q4. あなたの主たる勤務先の組織をお答えください。

1. 看護系大学（国立）
2. 看護系大学（公立）
3. 看護系大学（私立）
4. 看護系大学以外の大学
5. 研究所
6. 医療・保健・福祉機関（病院、診療所、訪問看護ステーション、等）
7. その他
8. 現在勤務していない／どこにも所属していない
9. 答えたくない

【「7. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q5. あなたの主たる勤務先での現在の立場にもっとも近いものをお答えください。

1. 教授
- 2.

- 准教授
  - 3. 講師
  - 4. 助教
  - 5. 助手
  - 6. 看護管理者（看護部長、師長・副師長等）
  - 7. 臨床で勤務する看護職\*（常勤） \*保健師、助産師、看護師とします
  - 8. 臨床で勤務する看護職\*（非常勤） \*保健師、助産師、看護師とします
  - 9. その他
  - 10. 答えたくない
- 【「9. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q6. あなたの現在の雇用形態をお答えください。

- 1. 常勤・任期あり
- 2. 常勤・任期なし
- 3. 非常勤
- 4. その他
- 5. 答えたくない

【「4. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q7. あなたは現在、大学院生ですか。

- 1. 大学院生ではない
- 2. 看護系大学院生（博士課程）
- 3. 看護系大学院生（修士課程）
- 4. 看護系以外の大学院生（博士課程）
- 5. 看護系以外の大学院生（修士課程）
- 6. その他
- 7. 答えたくない

【「6. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

Q8. あなたの居住地（自宅）は、特定警戒都道府県（北海道、茨城、東京、神奈川、埼玉、千葉、石川、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡）に含まれていましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 答えたくない

Q9. あなたは2020年の3～6月に就職や転職、退職をしましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 答えたくない

Q10. あなたの最終の（既に取得した）学位をお答えください。

- 1. 博士
- 2. 修士
- 3. 学士
- 4. 準学士
- 5. 短期大学士
- 6. その他
- 7. 答えたくない

【「6. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい】

> 「1. 博士」とお答えした人にお尋ねします。あなたは博士の学位取得後8年未満の研究者ですか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 答えたくない

Q11. あなたは現在、同居するパートナー・配偶者がいますか。

1. はい
2. いいえ
3. 答えたくない

Q12. あなたは現在、お子さんの育児・養育をしていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 答えたくない

Q13. あなたは現在、介護をしていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 答えたくない

以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

回答内容を確認して下さい。よろしければ、下記のボタンを押して回答内容を送信下さい。

